

令和7年度 高知市中心市街地活性化基本計画の定期フォローアップに関する報告

令和8年5月

高知市（高知県）

○計画期間:令和5年4月～令和10年3月(5年)

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 令和7年度終了時点(令和8年3月31日時点)の中心市街地の概況

本市では、令和5年3月に計画の認定を受け、「暮らす・働く・訪れ遊ぶ 魅力共創の『おまち』へ」を目指し、認定基本計画に登載のハード・ソフトあわせて59事業を実施している。

ハード面では、令和5年度末に整備が完了した「ビ・ウェル追手筋」や、令和6年度末に整備が完了した「ビ・ウェル菜園場」を筆頭に、現在も複数の民間分譲マンションの建設が進められ、マンション周辺の都市公園等も再整備が完了するなど、中心市街地における居住環境の整備が順調に進捗している。また、中心市街地におけるイベント開催スペースは、これまで「東洋電化中央公園」が主な役割を担ってきたが、令和7年度に「大旺新洋おまち多目的広場」が本格稼働し、中心市街地に2つのイベントスペースが確保された。その結果、中心市街地におけるイベントの開催日数は従前の1.5倍となり、中心市街地の賑わい創出に大きく貢献している。中心商店街では、令和6年度末に導入した人流分析システム（AIカメラ）を活用し、これまで入手することが困難であった性別や年代、曜日や時間毎のリアルタイムな人の動きを把握、分析することで、商店街の活性化に向けた取組や各個店の経営のデジタル化による経営改善等の取組を実施した。

ソフト面では、過去最多となる108隻のクルーズ船の寄港や、NHK連続テレビ小説「あんぱん」の放送に伴うイベント・キャンペーンの開催によって国内外から多くの観光客が訪れ、商店街では各種イベントの開催やインバウンド対策等を継続して実施している。また、中心商店街の営業店舗数や空き店舗への新規出店数の伸び悩みに対し、物件管理者と新規出店希望者とのマッチングを目的とした「商店街空き店舗ツアー」や、空き店舗へ出店する若年層に対し補助を優遇するメニューを設ける等の取組を実施した。

こうした取組の推進により、外国人観光客をはじめとする県外からの観光客が中心市街地を回遊している姿が見られるようになり、イベント開催時はもとより、平常時においても中心市街地の雰囲気が以前より活気を帯びている傾向がある。また、民間分譲マンションやホテルの建設等が進められている中、工事中の風景が多く見受けられるが、これらの施設完成に伴う居住・宿泊機能の充実は、中心市街地への来訪者及び滞在者の増加をもたらし、商業の活性化や賑わい創出に大きく寄与するものと考えられる。このような変化を踏まえ、今後もインバウンド対策の強化やおまち多目的広場の活用、人流分析システムを用いた商店街の活性化に向けた取組を継続していくことで、目標達成は可能と見込まれる。

【中心市街地の状況に関する基礎的なデータ】

(1) 居住人口

(基準日：毎年度1月1日) 単位：人

(中心市街地区域)	令和4年度 (計画前年度)	令和5年度 (1年目)	令和6年度 (2年目)	令和7年度 (3年目)	令和8年度 (4年目)	令和9年度 (5年目)
人口	5,767	5,796	5,744	5,841		
人口増減数	226	29	-52	97		
自然増減数	-60	-79	-111	-62		
社会増減数	287	114	61	154		
その他の増減数 (帰化・国籍喪失等)	-1	-6	-2	5		
転入者数	692	522	514	537		

(データ：住民基本台帳)

(2) 店舗数

(基準月：毎年12月)

(中心市街地区域)	令和4年度 (計画前年度)	令和5年度 (1年目)	令和6年度 (2年目)	令和7年度 (3年目)	令和8年度 (4年目)	令和9年度 (5年目)
中心市街地全体	547	544	547	546		
はりまや橋商店街	38	35	34	36		
京町・新京橋商店街	48	49	47	48		
壱番街商店街	32	31	31	30		
帯屋町一丁目商店街	86	87	87	89		
帯屋町二丁目商店街	45	46	46	44		
おびさんロード商店街	45	46	49	48		
中の橋商店街	50	47	48	47		
柳町商店街	64	65	69	72		
大橋通り商店街	36	36	38	34		
魚の棚商店街	18	20	18	19		
天神橋通商店街	31	31	31	32		
菜園場商店街	54	50	50	47		
升形商店街	36	37	34	34		

(データ：「商店街空き店舗調査」(高知市、高知商工会議所実施))

※複数商店街への重複店があるため、中心市街地全体の店舗数は各商店街の店舗数合計と一致しない。

(3) 地価

(基準日：毎年度1月1日)

単位：円

(中心市街地地域)	令和4年度 (計画前年度)	令和5年度 (1年目)	令和6年度 (2年目)	令和7年度 (3年目)	令和8年度 (4年目)	令和9年度 (5年目)
中心市街地全地点の平均	188,500	189,750	192,500	194,875		
本町1丁目38番1外 (※1)	251,000	254,000	265,000	273,000		
廿代町318番	134,000	133,000	133,000	134,000		
升形52番	141,000	140,000	140,000	140,000		
本町2丁目104番	158,000	160,000	162,000	164,000		
はりまや町1丁目 108番 (※2)	216,000	217,000	219,000	221,000		
帯屋町1丁目170番 外	260,000	265,000	269,000	273,000		
はりまや町1丁目 333番1外	180,000	181,000	182,000	183,000		
本町5丁目52番	168,000	168,000	170,000	171,000		

(データ：国土交通省地価公示・都道府県地価調査)

※1 本町1丁目38番1外の調査地点については、令和6年度までは本町1丁目29番外、令和7年度から現地番

※2 はりまや町1丁目108番の調査地点については、平成29年度までははりまや町3丁目76番、平成30年度から現地番

2. 令和7年度の取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

高知市中心市街地活性化基本計画における令和7年度の取組は、ハード事業については新たな取組はなかったものの、令和6年度末に整備が完了した「大旺新洋おまち多目的広場」の本格稼働により、中心市街地におけるイベントの開催日数が従前の約1.5倍となり、中心市街地の賑わい創出に大きく貢献している。また、令和6年度までに再整備を実施した「藤並公園」、「横堀公園」が来街者の憩いの場として定着してきており、マンションの建設など、居住環境の整備が進むことにより、中心市街地の居住人口は目標値を超えなかったものの、順調に推移している。

ソフト事業については、台湾定期チャーター便の就航やクルーズ船寄港数の倍増を要因とする外国人観光客の増、NHK連続テレビ小説「あんぱん」の放送等も追い風となって国内外からの観光客が堅調に増加しており、商店街ではおもてなしイベントの開催やインバウンド対策等を実施している。その他、人流分析システム（AIカメラ）の導入により、リアルタイムな人の動きの把握が可能となったことから、得られる様々な属性データを活用した施策展開の検討や、中心商店街の各個店においては、デジタル化による経営課題解決に向けた取組等を実施した。こういった取組の成果もあり、令和2年度に新型コロナウイルス感染症拡大により落ち込んだ中心市街地の賑わいが戻りつつある。

参考指標である「営業店舗数」や「新規出店数」については回復傾向にあるが、目標値には至っていない。背景には消費行動の変化や、インターネット通販の定着、物価高騰による消費抑制等が要因と推察されるが、その影響は各商店街で様々である。今後は、引き続き各商店街の特徴を伝えるとともに、物件管理者と新規出店希望者とのマッチングを目的とした「商店街空き店舗ツアー」や、空き店舗への新規出店者に対する補助事業等を継続して実施していくことが必要と考える。

以上を踏まえ、物価高騰や人口減少、DX推進等による社会の変化に対応するとともに、当事業の中核をなす商店街の自主的・自発的な活動もさらに加速し、引き続き中心市街地の活性化を官民が連携して取り組むことにより、地域経済における新たな需要や投資を喚起し、中心市街地の更なる活性化に向けたまちづくりが進捗することを期待する。

Ⅱ. 目標ごとのフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	基準値からの改善状況※1	目標達成に関する見通し※2	
						前回の見通し	今回の見通し
暮らしにも働く「ぼちり」なまち	中心市街地の 居住人口	5,529 人 (R3 末)	5,776 人 (R9 末)	5,773 人 (R7 末)	B	A	A
	中心市街地の 社会増減数 【参考指標1】	75 人 (R3)	92 人 (R9)	154 人 (R7)	A	—	—
	中心市街地商店街の営業店舗数 【参考指標2】	552 店舗 (R3)	571 店舗 (R9)	546 店舗 (R7)	C	—	—
	中心市街地の 新規出店数 【参考指標3】	64 店舗 (H29～R3 累計)	85 店舗 (R5～R9 累計)	29 店舗 (R5～R7 累計)	C	—	—
おのちのまちを まのあたりに 感じる力 を回復	中心市街地の 歩行者通行量 (17 地点)	104,188 人 (R3)	128,004 人 (R9)	122,452 人 (R7)	B	A	A
	拠点施設入館者数(4 施設) 【参考指標1】	1,020,017 人 (R3)	1,600,350 人 (R9)	1,480,965 人 (R7)	B	—	—
	中心市街地商店街の空き店舗率 【参考指標2】	15.8% (R3)	14.4% (R9)	14.7% (R7)	B	—	—
	宿泊者数 【参考指標3】	119 万人泊 (R元)	127 万人泊 (R9)	108 万人泊 (R7)	C	—	—

< 基準値からの改善状況 (※1) >

最新値が基準値や目標値と比較してどうであるかで判断

A : 目標達成、B : 基準値より改善、C : 基準値に及ばない

< 目標達成に関する見通しの分類 (※2) >

計画終了時の数値が、基準値や目標値と比較してどのような見通しかで判断

A : 目標達成が見込まれる

B : 目標達成が見込まれないが基準値を上回ることが見込まれる

C : 目標達成及び基準値を上回ることが見込まれない

※「< 基準値からの改善状況 (※1) >」、< 目標達成に関する見通しの分類 (※2) >ともに、関連する事業等の進捗状況が順調でない場合は、英字を小文字にして下線を引いて下さい。(例 : a、b、c)

2. 目標達成見通しの理由

中心市街地の居住人口については、民間分譲マンションの整備等により、平成 29 年度以降概ね増加し続けている。令和 7 年度の最新値（調査日：令和 8 年 4 月 1 日）は、前年度の 5,825 人から 52 人減の 5,773 人となったものの、令和 8 年度以降、大型の民間分譲マンションの竣工等が予定されていることから、目標達成は可能と見込まれる。

もうひとつの目標指標である歩行者通行量については、令和 7 年度最新値は 122,452 人と目標値には達していないものの、新型コロナウイルス感染症の収束に伴い再開された賑わいイベントの定着化やクルーズ船寄港数の倍増、NHK 連続テレビ小説「あんぱん」の放送などが追い風となり、前年度から着実な増加を見せている。令和 8 年度もクルーズ船の寄港数は 100 隻以上が予定されており、台湾と高知を結ぶ定期チャーター便の運航も令和 8 年 10 月まで延長された。加えて、中心市街地内では複数のホテル整備が予定されているほか、令和 8 年 10 月からは国内最大級の文化の祭典「よさこい高知文化祭 2026」も開催される。これらのことから、朝ドラで高まった認知度を土台としつつ、インバウンド対策の強化や令和 6 年度に整備された大旺新洋おまち多目的広場のイベント利用の推進等を通じて、継続的な賑わい創出を図ることで、さらなる通行量の増加が期待できる。

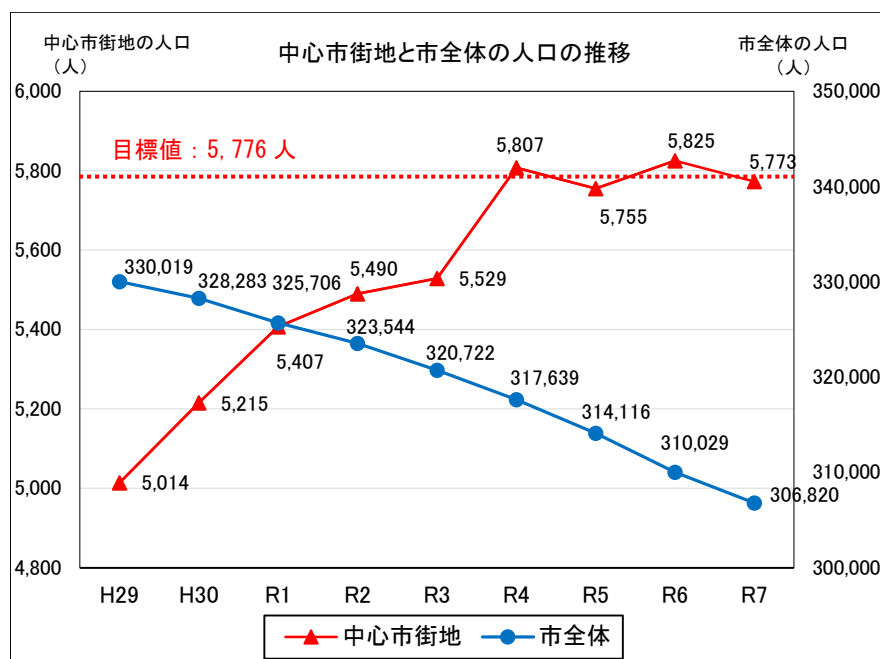
3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

前回フォローアップと見通しは変わっていない。

4. 目標指標ごとのフォローアップ結果

（１）「中心市街地の居住人口」※目標設定の考え方認定基本計画 P63～P64 参照

●調査結果と分析



年	(単位)
R 3	5,529 人 (基準年値)
R 4	5,807 人
R 5	5,755 人
R 6	5,825 人
R 7	5,773 人
R 8	
R 9	5,776 人 (目標値)

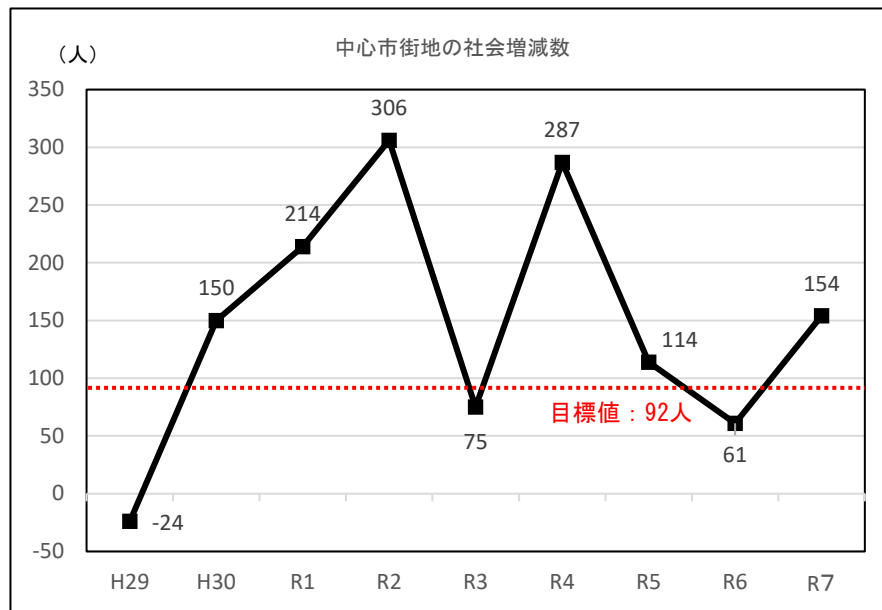
※調査方法：基本計画区域内の町丁目別及び市全体の住民基本台帳人口

※調査月：毎年 4 月 1 日

※調査主体：高知市

※調査対象：基本計画区域内及び高知市の居住者

<参考指標 1> 中心市街地の社会増減数 ※目標設定の考え方認定基本計画 P65 参照



年	(単位)
R 3	75 人 (基準年値)
R 4	287 人
R 5	114 人
R 6	61 人
R 7	154 人
R 8	
R 9	92 人 (目標値)

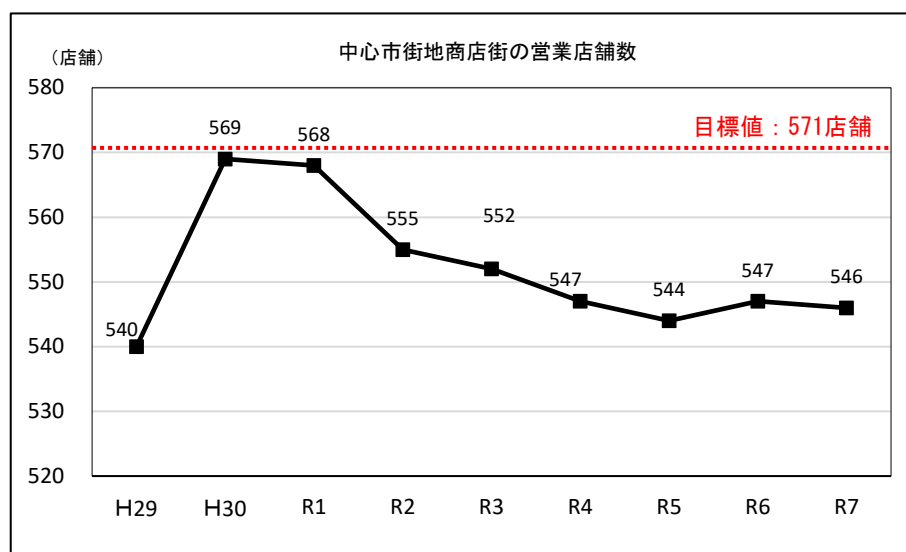
※調査方法：基本計画区域内の町別異動件数及び町別市内間異動件数

※調査月：毎年度 1 月 1 日

※調査主体：高知市

※調査対象：基本計画区域内の転入数と転出数の差

<参考指標 2> 中心市街地商店街の営業店舗数 ※目標設定の考え方認定基本計画 P66 参照



年	(単位)
R 3	552 店舗 (基準年値)
R 4	547 店舗
R 5	544 店舗
R 6	547 店舗
R 7	546 店舗
R 8	
R 9	571 店舗 (目標値)

※調査方法：商店街の 18 区域において、毎年 12 月を目安に実施。

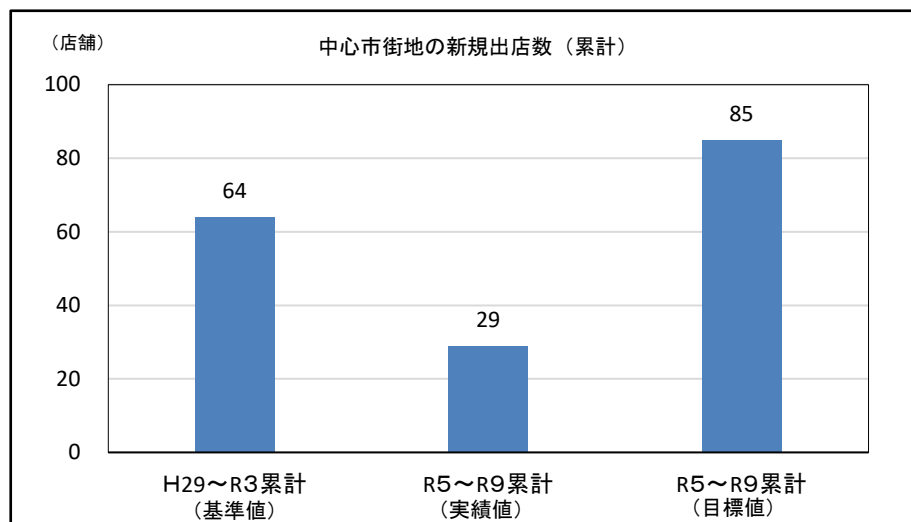
区域内の 1 階路面店を対象に空き店舗数、営業店舗数等を調査。

※調査月：毎年 12 月

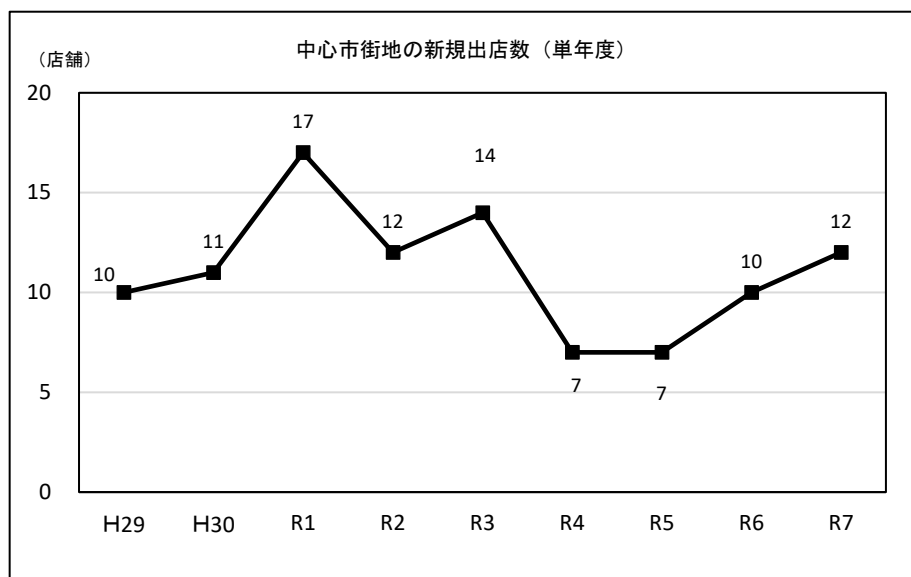
※調査主体：高知市、高知商工会議所

※調査対象：中心市街地商店街（はりまや橋商店街、京町商店街、新京橋商店街、壱番街商店街、帯屋町一丁目商店街、帯屋町二丁目商店街、おびさんロード商店街、中の橋商店街、柳町商店街、大橋通り商店街、魚の棚商店街、天神橋通商店街、菜園場商店街、升形商店街）

<参考指標 3> 中心市街地の新規出店数 ※目標設定の考え方認定基本計画 P68 参照



年	(単位)
H29~ R 3 累 計	64 店舗 (基準値)
R 5 ~ R 9 累 計	29 店舗 (実績値) 85 店舗 (目標値)



年	(単位)
R 3	14 店舗
R 4	7 店舗
R 5	7 店舗
R 6	10 店舗
R 7	12 店舗
R 8	
R 9	

※調査方法：「空き店舗を活用した創業支援サポート事業」を活用し、中心市街地エリアに出店した店舗数を集計。

※調査月：令和 6 年度

※調査主体：高知市

※調査対象：中心市街地エリア（高知市空き店舗活用創業支援事業費補助金で定める中心商店街及び商店街を除く中心市街地）

<分析内容>

令和 7 年度の最新値（調査日：令和 8 年 4 月 1 日）における市全体の人口は 306,820 人と減少が続いており、中心市街地の居住人口も 5,773 人と令和 6 年度より減少し、令和 9 年度目標値を下回る結果となった。

新規出店数や営業店舗数は昨年度に比べると増加したものの、新型コロナウイルス感染拡大前の数には達していない。背景には新型コロナウイルス感染症拡大の影響拡大後、インターネット販売や在宅ワークの定着等による消費行動の変化が、実店舗の経営環境に大きく起因していると考えられる。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 藤並公園整備事業（高知市）

事業実施期間	平成 30 年度～令和 5 年度【済】
事業概要	来街者の憩いの場としての再整備の実施
国の支援措置名及び支援期間	都市構造再編集中支援事業（国土交通省）（令和 2 年度～令和 5 年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和 6 年 3 月 22 日に整備工事が完了し、同日開放。来街者の憩いの場が整備されたことで、利便性及び回遊性の向上が期待される。 ・計画：公園整備による居住環境の向上により 267 人の居住人口増加見込み （令和 9 年度居住人口推計値 5,343 人の 5%）
事業の今後について	更なる回遊性の向上や地元購買による経済の活性化につながるよう引き続き各事業に取り組んでいく。

②. 空き店舗を活用した創業支援サポート事業（高知県、高知市、高知商工会議所）

事業実施期間	平成 25 年度～令和 9 年度【実施中】
事業概要	中心市街地や商店街の空き店舗を活用して出店する新規創業者等への支援
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和 5 年度～令和 9 年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	ハード面では空き店舗を活用して商店街等で出店される方に店舗改修費の支援を行った。 （令和 7 年度補助実績：2 件） ソフト面では空き店舗を活用し中心市街地で新たに創業する出店者に対し店舗賃借料等を補助する支援や移住者向けに仲介手数料の補助を実施。 （令和 7 年度補助実績：12 件、うち若年層向け補助率の優遇：3 件、移住者向け仲介手数料補助 0 件） ・計画：多様な店舗の集積による居住環境の向上により 267 人の居住人口増加見込み （令和 9 年度居住人口推計値 5,343 人の 5%）
事業の今後について	令和 8 年度も継続して若年層の方を対象に店舗賃借料の補助率をあげ、さらなる活用を図っていきながら、引き続き商店街等の空き店舗を活用して新規出店する事業者を支援する。また、各支援機関と連携しながら創業希望者が抱える課題の解決及び情報の共有を図る。

③. 「ビ・ウェル追手筋」整備事業（和建设株式会社）

事業実施期間	令和 5 年度【済】
事業概要	追手筋一丁目地区における商業店舗と共同住宅の複合施設整備
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし

事業目標値・最新値及び進捗状況	令和5年11月竣工。住居戸数30戸のマンションが整備されたことにより、追手筋一丁目地区の居住人口が増加。 ・計画：住居戸数30戸 48人の居住人口増加見込み（1戸あたり平均1.61人と仮定）
事業の今後について	増加した人口について更なる回遊性の向上や地元購買による経済の活性化につながるよう引き続き各事業に取り組んでいく。

④. 「ビ・ウェル菜園場」整備事業（和建设株式会社）

事業実施期間	令和5年度～令和6年度【済】
事業概要	菜園場町地区における民間分譲マンションの整備
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和7年3月竣工。住居戸数52戸のマンションが整備されたことにより、菜園場町地区の居住人口が増加。 ・計画：住居戸数52戸 84人の居住人口増加見込み（1戸あたり平均1.61人と仮定）
事業の今後について	増加した人口について更なる回遊性の向上や地元購買による経済の活性化につながるよう引き続き各事業に取り組んでいく。

⑤. 移住・定住促進事業（高知市）

事業実施期間	平成27年度～令和9年度【実施中】
事業概要	街の魅力や移住・定住に関する情報発信や、三世帯同居等となる子育て世帯の転入・定住費用に対する支援など、移住・定住を促進するための各種施策を実施するもの
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	ホームページ・SNS等において、高知市の生活のしやすさ、利便性が高いことについて情報発信を行った。また、移住希望者を対象とした各種補助金やツアー等を実施。 ・街なかをはじめとする市内を案内するガイドツアー（令和7年度実績：2件、4名） ・移住希望者を対象としたふるさとワーキングホリデー（令和7年度実績：参加者7名） ・高知県内への二段階移住を考えている方に一段階目の移住・滞在場所となる高知市でのお試し移住費用等の補助（令和7年度実績：8件） ・本市へのUIターンにおける家族形態やライフスタイルに合わせ引っ越し費用や物件費用に係る支援の補助（令和7年度実績：53件） ・よさこい移住者交流会（高知市）や、よさこいファンミーティング（大阪市）の開催 ・計画：県外からの移住組数のうち、中心市街地に居住する世帯割合と5年間の人口増を加味し、34人の居住者増加を見込む。

事業の今後について	引き続き、移住希望者対象としたガイドツアーの実施や各種補助の実施等により、移住・定住の促進に向けた支援を行っていく。
-----------	--

⑥. 中心市街地公園環境美化事業（高知市）

事業実施期間	平成 25 年度～令和 9 年度【実施中】
事業概要	はりまや橋公園周辺を初めとする、中心市街地周辺にある既存都市公園施設について、来街者が気軽に憩える空間として環境美化清掃等や定期的な樹木剪定を行うことで、安全性の確保及び憩いの場としての魅力向上を図る。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和 5 年度～令和 9 年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	中心市街地にある 11 の都市公園施設において、毎日～週 1 回、環境美化清掃等の活動を実施した。
事業の今後について	引き続き、市民や観光客が安全に憩えるよう、公園施設の美化活動を継続して実施していく。

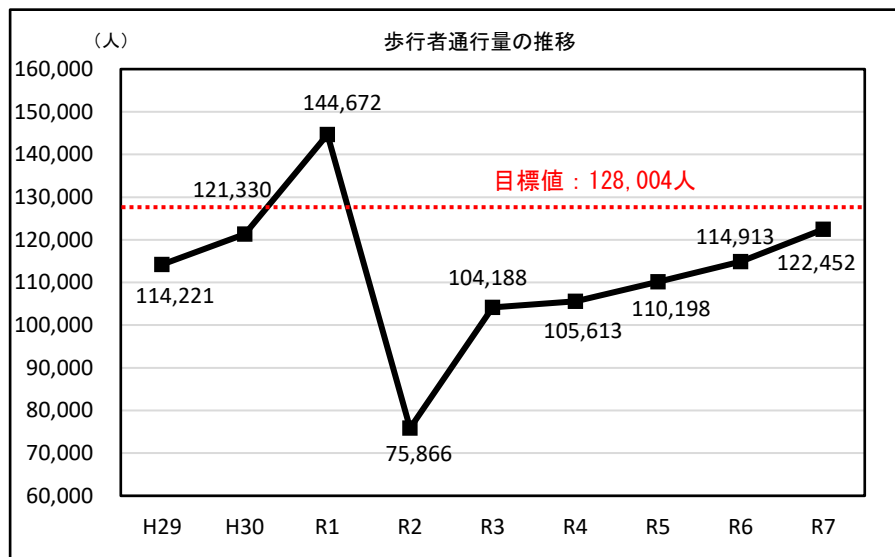
●目標達成の見通し及び今後の対策

目標指標である中心市街地の居住人口については、民間分譲マンションの整備等により、平成 29 年度以降概ね増加し続けている。令和 7 年度の最新値（調査日：令和 8 年 4 月 1 日）は、前年度の 5,825 人から 52 人減の 5,773 人となったものの、令和 8 年度以降、大型の民間分譲マンションの竣工等が予定されていることから、目標達成は可能と見込まれる。今後も、「空き店舗を活用した創業支援サポート事業」の若年層に対する補助率嵩上げや「中心市街地空き店舗ツアー」等の施策を継続実施し、営業店舗数や新規出店数の増加に向けた取組を加速するとともに、令和 6 年度に整備した人流分析システムを活用し、データに基づいた効果的な出店誘致や事業展開を研究していく。

（２）「歩行者通行量（17 地点・冬季・平日休日 2 日の合計）」

※目標設定の考え方基本計画 P70～P72 参照

●調査結果の推移



年	(単位)
R 3	104,188 人 (基準年値)
R 4	105,613 人
R 5	110,198 人
R 6	114,913 人
R 7	122,452 人
R 8	
R 9	128,004 人 (目標値)

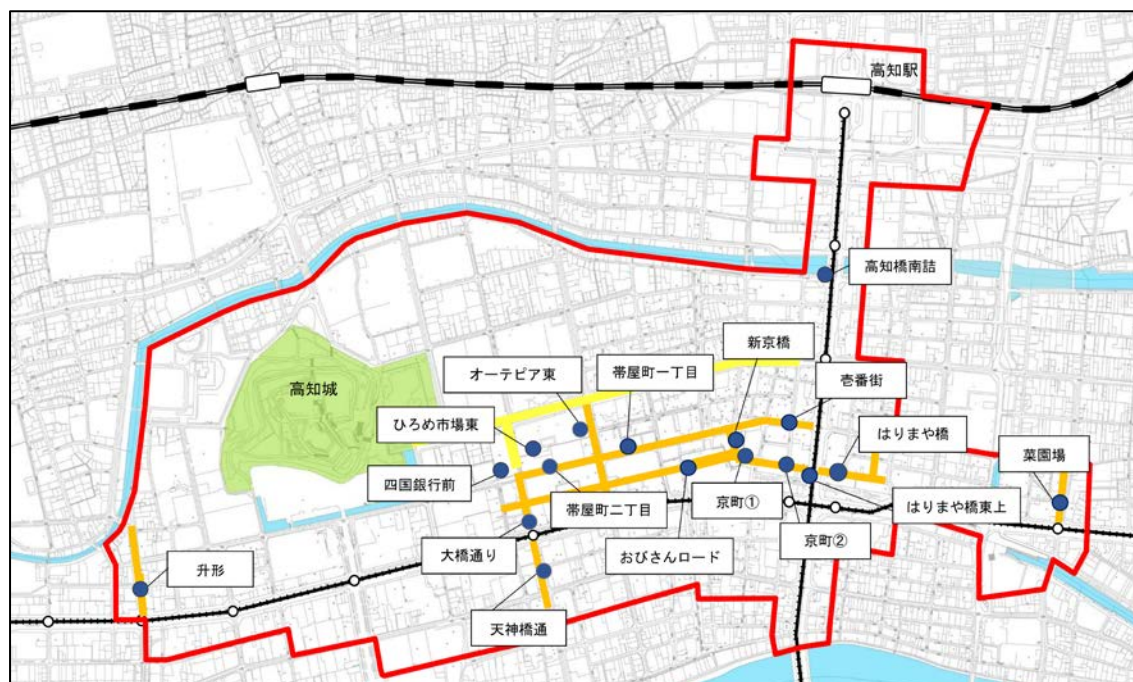
※調査方法：中心市街地内の 17 地点において、毎年 12 月の第 3 金曜日及び日曜日に実施。

10 時～18 時の間に通行する歩行者を計測。

※調査月：令和 7 年 12 月

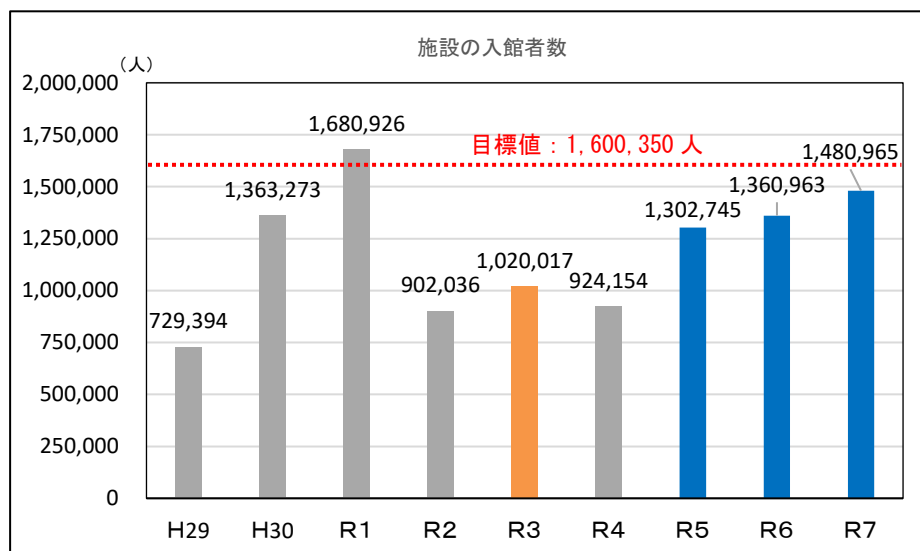
※調査主体：高知市、高知県商店街振興組合連合会

※調査対象：中心市街地内 17 地点の歩行者



(単位：人)						
	令和4年度 (計画前年度)	令和5年度 (1年目)	令和6年度 (2年目)	令和7年度 (3年目)	令和8年度 (4年目)	令和9年度 (5年目)
大橋通り商店街	7,026	7,758	8,070	9,285		
帯屋町二丁目商店街	16,869	18,204	18,273	17,186		
帯屋町一丁目商店街	17,078	19,205	20,145	22,136		
おびさんロード商店街	3,078	5,046	5,244	5,325		
壱番街商店街	8,619	8,274	8,049	15,193		
新京橋商店街	5,845	5,037	4,839	4,815		
京町商店街①	5,367	4,770	5,206	5,148		
京町商店街②	6,120	5,403	6,045	5,883		
はりまや橋商店街	4,419	4,113	4,755	3,720		
はりまや橋東上	3,429	2,922	4,911	3,117		
菜園場商店街	1,176	1,080	804	762		
升形商店街	1,314	1,239	836	1,605		
天神橋通商店街	2,754	2,835	2,427	2,817		
四国銀行帯屋町支店前	7,162	7,699	9,236	9,651		
ひろめ市場東	7,312	7,476	7,576	7,584		
オーテピア東	5,137	5,986	5,194	5,097		
高知橋南詰	2,908	3,151	3,303	3,128		
合計	105,613	110,198	114,913	122,452		

<参考指標 1> 拠点施設入館者数 ※目標設定の考え方認定基本計画 P73～P74 参照



年	(単位)
R 3	1,020,017 人 (基準年値)
R 4	924,154 人
R 5	1,302,745 人
R 6	1,360,963 人
R 7	1,480,965 人
R 8	
R 9	1,600,350 人 (目標値)

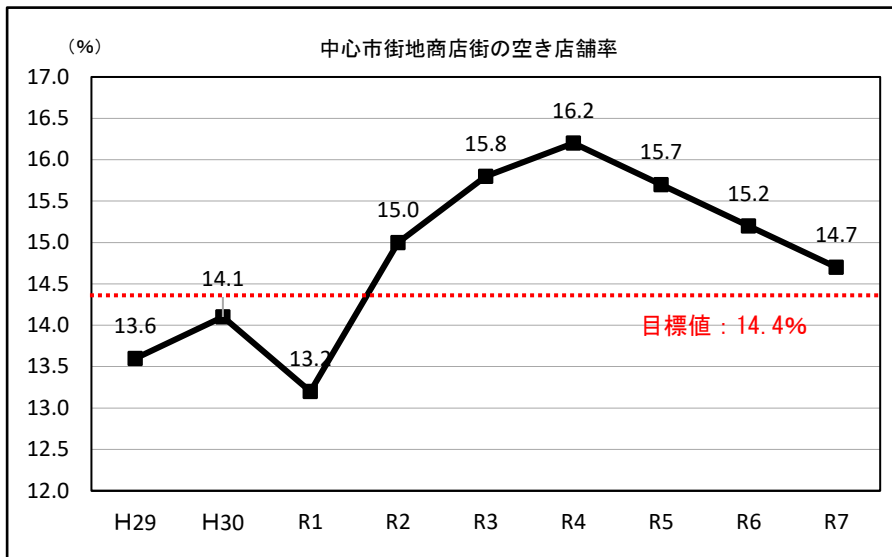
※調査方法：拠点施設（4施設）ごとに日常的に計測し、年間入館者数を集計

※調査月：毎年4月

※調査主体：高知県、高知市

※調査対象：オーテピア、高知城歴史博物館、かるぽーと、高知よさこい情報交流館の4施設（H29年度はオーテピアが開館前のため、3施設の入館者数の合計値）

<参考指標 2> 中心市街地商店街の空き店舗率 ※目標設定の考え方認定基本計画 P75 参照



年	(単位)
R 3	15.8% (基準年値)
R 4	16.2%
R 5	15.7%
R 6	15.2%
R 7	14.7%
R 8	
R 9	14.4% (目標値)

※調査方法：商店街の18区域において、毎年12月を目安に実施。

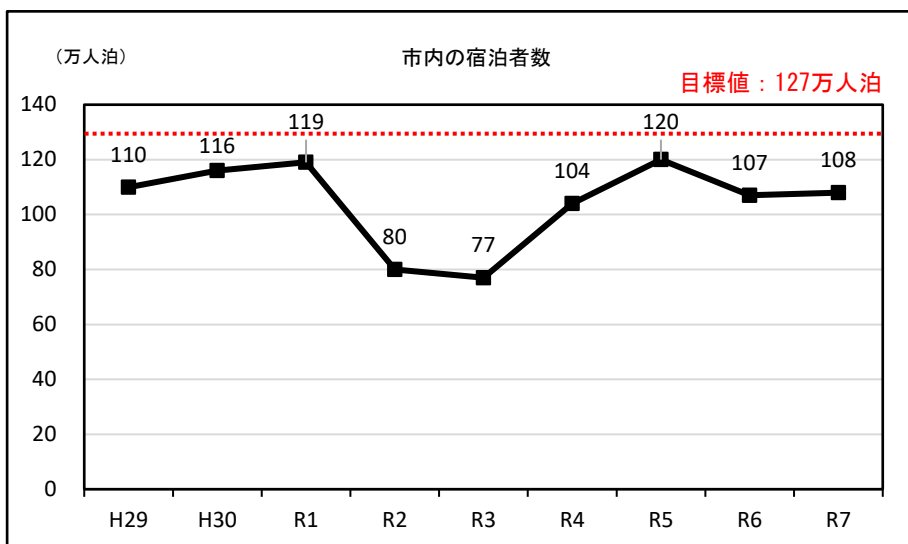
区域内の1階路面店を対象に空き店舗数、営業店舗数等を調査。

※調査月：毎年12月

※調査主体：高知市、高知商工会議所

※調査対象：中心市街地商店街（はりまや橋商店街、京町商店街、新京橋商店街、壱番街商店街、帯屋町一丁目商店街、帯屋町二丁目商店街、おびさんロード商店街、中の橋商店街、柳町商店街、大橋通り商店街、魚の棚商店街、天神橋通商店街、菜園場商店街、升形商店街）

<参考指標 3> 宿泊者数 ※目標設定の考え方認定基本計画 P76 参照



年	(単位)
R元	119万人泊 (基準年値)
R 4	104万人泊
R 5	120万人泊
R 6	107万人泊
R 7	108万人泊
R 8	
R 9	127万人泊 (目標値)

※調査方法：観光庁「宿泊旅行統計調査」月別市区町村別集計 延べ宿泊者数（従業者数10人以上）

※調査月：各月

※調査主体：観光庁

※調査対象：従業者数10人以上の施設における市内宿泊者

(分析内容)

中心市街地では平成 27 年度以降、拠点施設が続いて整備され、新たな人の流れや賑わいが生まれたことに伴い、令和元年度の歩行者通行量は 144,672 人と、本市が中心市街地基本計画の取組を開始した平成 24 年度以降最も高くなっていた。しかし、令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症拡大により来街者が大幅に減少し、令和 3 年度以降は回復傾向にあるが、令和 7 年度時点で 122,452 人と目標値まではいたっていない。拠点施設入館者数や宿泊者数は増加傾向にあり、宿泊者数については NHK 連続テレビ小説「らんまん」の放送があった令和 5 年度にはかなわなかったものの、台湾と高知を結ぶ定期チャーター便の継続的な運航等によって依然として高い水準で推移している。空き店舗率は令和 4 年度以降改善がみられるものの、新規出店数が伸び悩んでおり目標値には届いていない。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

① 高知大丸「OMACHI360（おまち さんろくぜろ）」の展開（高知大丸、高知市）

事業実施期間	令和 5 年度～令和 9 年度【実施中】
事業概要	高知大丸において地場産品等を提供する集客拠点を整備・運営するもの。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	本市と高知大丸が協定を締結して実施していた「OMACHI360（おまち さんろくぜろ）」での高知市及びれんけい市町村の「れんけいブース」設置による地場産品等の展示販売、「チャレンジショップ」、「チャレンジキッチン」については事業展開が困難となったため、令和 7 年度以降は協定を締結せず、高知大丸が単独で事業を展開した。 ・計画：周辺商店街等（東エリア）の歩行者通行量が令和 9 年度推計値 26,039 人の歩行者通行量に対して 5%（1,302 人）増加見込み
事業の今後について	高知大丸が単独で事業を実施していく。

② おまち多目的広場利活用事業（高知市、民間事業者）

事業実施期間	平成 25 年度～令和 9 年度【実施中】
事業概要	オーテピアに隣接する市有地を活用した中心市街地活性化事業を実施するもの。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	イベントの開催や市民が多目的に利用でき、にぎわいや憩いを創出するスペースとして利用できるよう、各種イベントを開催しやすいアスファルト舗装を施して整備し、令和 7 年 3 月 15 日にグランドオープン。令和 7 年度は当初の計画目標 100 日を上回る 113 日の利用があり、中心市街地の賑わい創出に大きく寄与している。

	計画：西敷地周辺商店街（西エリア）の歩行者通行量が令和9年度推計値 67,691 人の歩行者通行量に対して5%（3,385 人）増加見込み
事業の今後について	引き続きイベント活用を推進し、市民の方に利活用してもらえよう周知を行っていく。

③ 商店街イベント事業（高知市、商店街）

事業実施期間	平成 25 年度～令和9年度【実施中】
事業概要	各商店街がそれぞれの特色を活かしたイベントを開催するもの。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和5年度～令和9年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	中心商店街を会場にしたイベント（高知大道芸フェス、土曜夜市、龍馬生誕祭、イルミネーションフェスタ、クリスマスマーケット等）を実施し、中心市街地の賑わい創出に寄与した。 計画：歩行者通行量が令和9年度推計値 98,361 人に対して5%（4,918 人）増加見込み
事業の今後について	引き続き各商店街がそれぞれの特性を生かしたイベントを実施していく。

④ シェアサイクル事業（高知市）

事業実施期間	令和5年度～令和9年度【実施中】
事業概要	中心市街地を快適に回遊できるシェアサイクルの導入の検討及び実施するもの。
国の支援措置名及び支援期間	都市再生整備計画道路占用許可の特例、都市公園の占用許可の特例（活用予定）（国土交通省）（令和5年度～令和9年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	高知市が主体となって実施していたシェアサイクル事業は令和6年9月に終了したが、令和7年3月に高知市中心市街地内でシェアサイクル事業を開始した株式会社ダイセイと「シェアサイクル事業に関する基本協定」を締結し、事業を展開している。現在、市内5か所に総台数 30 台の自転車を設置し稼働中。 計画：1 日あたり利用者数 30 台×0.5（回転率目標値）＝15 人 15 人×3か所×2日間（平日・休日）＝90 人増加見込み
事業の今後について	高知市は市有地の貸付け等を通じて、引き続きサイクルポート設置のサポートを実施する。

⑤ 中心市街地ナイトタイムエコノミー事業（高知市、商店街、民間事業者）

事業実施期間	令和5年度～令和9年度【実施中】
事業概要	中心市街地における夜間のライトアップやイベント等の開催によるナイトタイムエコノミーの強化
国の支援措置名及び	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和5年度～令和9年度）

支援期間	
事業目標値・最新値 及び進捗状況	①実行委員会形式による「Christmas Market 2025 in Kochi」を開催し、14 日間で 157,927 人がイベント会場を訪れた。クリスマスマーケットへの来場者数は、令和5年度 135,372 人（11 日間）、令和6年度 149,254 人（13 日間）、令和7年度 157,927 人（14 日間）と、開催日数の増加に加えて1日あたりの来場者数も増加しており、クリスマスシーズンの定番イベントとして着実に定着しつつある。開催期間中に会場で実施したアンケート調査によると、来場者数の内訳は市内約 63%、市内を除く県内約 27%、県外約 10%となっており、市内来場者が大多数である一方で、県外からの来場者の約半数が「高知市内の旅館・ホテル等での宿泊」を検討・実施していることが明らかになった。さらに、「高知市中心市街地（商店街・繁華街）に行きますか？（行きましたか？）」という質問に対しては、県内外問わず70%以上が「行く」と回答しており、ナイトタイムエコノミーの推進による宿泊需要の喚起と、中心市街地全体への経済波及効果が確認された。アンケート結果及び来場者統計から推計した令和7年度の観光消費額は約 10 億円（令和5年度約 7.3 億円、令和6年度約 8.9 億円）であり、3年間で約 37%の増加となっている。また、帯屋町をはじめとした中心商店街の関係者が実行委員会に参画することで、クリスマスマーケット開催に合わせた商店街アーケード内のイルミネーション装飾や、おびさんマルシェの同期開催など、商店街主体の附帯的な取組が誘発され、中心市街地全体の夜間魅力創出に相乗効果をもたらしている。 ②高知の春を代表する催事として地域住民及び観光客に定着している「高知城花回廊」については、令和7年度は3日間で約 46,000 人が来場した。直近5年間の 1 日あたりの来場者数は令和4年度 8,750 人、令和5年度 12,333 人、令和6年度 14,333 人、令和7年度 15,333 人となっており、天候による影響を除いた来場者数は増加傾向を示している。「春の高知城といえば花回廊」という認知の定着が、本市の春季観光における重要な資源として機能し、リピーター創出と観光客の滞在時間延長に貢献している。また、通常 17 時で閉館となっている高知城懐徳館（天守）の開館時間を 21 時まで特別夜間延長することで、天守からの高知市街の夜景観賞と、花回廊のライトアップ鑑賞が同一の訪問体験の中で実現可能となった。この取組により、観光客の高知城周辺滞在時間が 4 時間以上延長され、その後の中心商店街への来訪・消費に繋がる導線が形成されている。 ③、龍馬の生誕を祝う「龍馬生誕祭」については、伝統的な龍馬生誕地碑からの提灯行列という顕彰行事に加え、高校生のバンド演奏、キッズダンス、太鼓演奏、よさこい鳴子踊り等の多様なパフォーマンスを組み合わせることで、伝統と活気が共存する高知らしい空間を演出しており、県内外から多くの観客が来場している。令和7年度のよさこい鳴子踊りの参加チーム数は 28 チームに上り、龍馬ファンのみなら

	ず、よさこいファンも取り込むことで、イベント来場者の多層化と滞在時間の延長が実現されている。 これら3つの事業を年間で戦略的に配置することにより、中心市街地における通年的な夜間活動の継続性と、異なる関心層の来訪者を取り込むことで、複数イベント間の相乗効果が生まれ、中心市街地全体の活性化と賑わい創出に大きく寄与している。
事業の今後について	引き続き、中心市街地における夜間のライトアップやイベント等の開催によるナイトタイムエコノミー事業を展開していく。

⑥ 高知よさこい情報交流館運営事業（高知市）

事業実施期間	平成 25 年度～令和 9 年度【実施中】
事業概要	高知よさこい情報交流館の運営、よさこいをテーマとした展示・イベント等の拡充・実施
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和 5 年度～令和 9 年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	よさこい演舞や体験イベント、写真コンクール、各種企画展等を実施した。 【イベント】 ・春よさこい 2025（4/27） ・第 11 回よさこい写真コンクール（作品募集：8/18～9/7、受賞作品展：10/2～12/9） ・よさこいリターンズ（10/11、11/1、12/6） ・来館者 60 万人セレモニー（11/21） 【企画展】 ・競演場へきてみーや（7/3～9/2） ・よさこい十年一昔～2015 年を振り返る～（12/18～2/3） ・よさこい祭り衣装展～今と昔～（2/19～3/24） 【体験イベント】 ・鳴子づくり体験：1,027 人 ・踊り体験：8,248 人
事業の今後について	引き続き、よさこいをテーマとした展示・イベント等を実施していく。

⑦ MY 遊バス運行事業（（公財）高知県観光コンベンション協会）

事業実施期間	平成 25 年度～令和 9 年度【実施中】
事業概要	市内の観光地を経由するバス及び観光バスターミナルの運営、中心市街地の飲食店や店舗との連携
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和 5 年度～令和 9 年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	MY 遊バスの運行支援及びはりまや橋バスターミナルの運営支援を実施。また、観光施設や宿泊施設等において、割引特典、サービス等の付与を行った。

事業の今後について	MY 遊バスの運行支援等を引き続き実施していく。
-----------	--------------------------

●目標達成の見通し及び今後の対策

目標指標である歩行者通行量については、新型コロナウイルス感染症の拡大により来街者数が大幅に減少した令和 2 年度に比べると令和 3 年度以降増加しているが、令和 7 年度最新値は 122,452 人と目標値には達していない。外国人観光客増に対応するインバウンド対策やおまち多目的広場の利活用を推進していくことでさらなる増加が期待できるため、目標達成は可能と見込まれる。